

藤野陽三 上席特別教授 「日本学士院賞」受賞記念講演

「橋からインフラに、そして都市に

-私の辿ってきた道、皆さんへの期待-

日時: 6月25日(火) 16:30~17:50

場所: 経済学部講義棟 2号館1F 111 講義室

祝賀会: 18:00~20:00 (同会場 1F ラウンジ)

(祝賀会に参加希望の方は IAS の事務局 ias@ynu.ac.jp までお問い合わせください)

共催: 先端科学高等研究院, 都市イノベーション研究院, 都市科学部

私は、この度とても名誉な賞をいただくことになりました。40年あまり、教育研究者として学生や大学院生に囲まれながら、好きな研究を続けてこれたのが、この賞につながったのでしょう。未来を担う若い皆さんに、その楽しさをお伝えし、おこがましいのですが、皆さんに何かを考えるきっかけを与えることができれば、と思って講演をお受けしました。以下のようなことを講演ではお話ししようと思っています

➤ 学生から研究者になるまで

- ・思いがけなく、土木工学を専攻した経緯
- ・橋が研究対象になって考えたこと
- ・構造制御学を目指して
- ・あとから考えると意味の大きかったカナダへの留学

➤ 橋からインフラに都市へ

- ・橋の絵を描くきっかけ
- ・橋からインフラに、そして都市に
- ・若い人と一緒にやったグローバル COE「都市持続再生学」

➤ 皆さんへの期待

- ・世界で戦える自信を持つこと
- ・異分野の方との交流から得ることの大きさ
- ・嫌なことも好きな課題に変えることの大事さ
- ・自分を自由にしておくことの大切さ
- ・大学が国際化するということ
- ・自分の成果を通じて社会に貢献できると思えることの幸せ
- ・持続可能な、新しい日本の姿 等々



藤野の思い出が多い
横浜ベイブリッジ (自画)



多くの学生さんに聴いていただければ、皆さんからの意見、感想を聞くことができれば、とても幸いです。(藤野記)

日本学士院賞について

日本学士院賞(にっぽんがくしいんしょう)は、日本学士院が授与する1911年創設の賞であり、日本の学術賞としては最も権威ある賞である。過去の受賞者には江崎玲於奈、小柴昌俊、野依良治、本庶佑などのノーベル賞受賞者も名を連ねる。本学現職教員による日本学士院賞の受賞は、初の快挙である。本学卒業生としては、藤嶋昭(1966年工学部卒)や相田卓三(1979年工学部卒)が本賞を受賞している。

【問合先】IAS 事務局: ias@ynu.ac.jp 電話: 045-339-4454

横浜国立大学 先端科学高等研究院 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

